

前橋文学館が開館を再開しました

ホール防音扉交換工事のため、1月下旬から休館していた前橋文学館。春の訪れとともに、装いも新たに開館を再開しました。

1 萩原朔太郎生誕140年記念 前橋文学館コレクション展

「悪筆。文字書体をなさず。冷汗冷汗。-萩原朔太郎と文字」を開催します

本展では、前橋文学館の収蔵資料から、朔太郎直筆の資料を中心に約70点を展示し、「文字」を手がかりに朔太郎の視点や垣間見えるものを検証。デジタル時代の現代において「文字を書く」行為をあらためて考えるきっかけとなる展覧会です。

(1) 公開日時・会場等

会期 3月21日(土)～5月24日(日) 9時～17時(入館30分前まで)

会場 前橋文学館2階企画展示室(千代田町三丁目12-10)

休館日 4月29日・5月6日を除く水曜、4月30日(木)・5月7日(木)

観覧料 一般500円

(高校生以下、障害者手帳持参の人とその介護者1人、3月21日(土)は無料)

(2) 関連イベント

●オープニングイベント「悪筆ニテ、モノ申ス！」

書家・沢村澄子さんによる、書道パフォーマンスを行います。

日時 3月21日(土) 14時

会場 1階ロビー

●担当学芸員ギャラリーガイド(事前予約不要・要観覧券)

日時 4月25日(土) 14時

会場 2階企画展示室

2 本市出身の詩人・萩原朔太郎デザインマンホールの敷設

朔太郎がデザインした図案を前橋文学館近く(広瀬川朔太郎橋上流)のマンホールに搭載。制作・設置費用はふるさと納税による寄付で実現しました。

3 映像作品「朔太郎の散歩道～いまそこにいる朔太郎～」(石原康臣監督)公開開始

萩原朔太郎の第四詩集『純情小曲集』に収められた「郷土望景詩」100年を記念し制作された映像作品。「散歩」をテーマに、萩原朔太郎が歩いた前橋を朔太郎の随筆「秋と慢歩」「永遠の退屈」や詩篇「危険な散歩」「監獄裏の林」「利根の松原」などの詩篇とともにたどる28分。オーディションで選ばれた市民とともに作り上げたオリジナル作品です。文学館1階の映像展示室で常設上映します。

担 当 文化国際課文学館

担当者 高坂・新井

電 話 027-235-8011